

今月の利用者様の川柳・短文『作品募集中』

短歌

『青い大空に
白い雲
ぼつんと一つ
葉がひらひらと
散りゆきし秋』

『美味しい
ポポの実も落ちて
晩秋の風は冷たし』

『木の葉
舞い上がり
空から降ってくる
秋空の便りは
今年も寒いと』

たくさんの作品を有難うございます。今後も作品募集中です。是非ともご参加下さい。



《来月の通所リハビリ行事予定》

★ 節分



《来月のパワーリハビリ行事予定》

★ 節分



(一財) 脳神経疾患研究所
 附属 総合南東北病院 附属 須賀川診療所
 TEL (0248) 73-3331 (代表)
 FAX (0248) 72-9590
 南東北通所リハビリテーションセンター須賀川
 南東北パワーリハビリテーションセンター須賀川
 (一財) 脳神経疾患研究所
 【関連事業所】
 南東北須賀川居宅介護支援事業所
 南東北訪問看護ステーション たんぽぽ
 962-0032
 須賀川市大袋町206-2
 e-mail: sukagawaclinic@mt.strins.or.jp
 homepage: http://www.sukagawa-clinic.com/



ぼたん通信

1月号



一般財団法人 脳神経疾患研究所
 附属総合南東北病院 附属須賀川診療所
 南東北通所リハビリテーションセンター須賀川
 南東北パワーリハビリテーションセンター須賀川
 【平成三十一年一月十五日発行】

明けましておめでとございます。
 職員一同、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の干支は亥(いのしし)「己亥(つちのい、きがいに)」です。亥年生まれの方は、猪突猛进型、

義理堅い、正直、世話好き、短気、せっかち、意固地。他人から誤解されることも多いよう。協調性にややかけると言われますが、やりくり上手で家庭を支え家族を大切にします。また、誠実なタイプが多いので浮気はしない性格だとか? ちなみに亥年生まれの有名な人といえば、渡辺 謙、あき竹城、竹野内豊、宇多田ヒカル、深田恭子、森泉、松本潤、向井理、藤原竜也、桜井和寿さんなど個性的な方々が目立つようです。中でも、今年還暦を迎える渡辺 謙は、「本当に、世の中の文字は、小さすぎて読めない!」と叫びながら書類を放り投げ拡大鏡の必要性を訴える「ハズキルーペ」のテレビCMで活躍でした。菊川 怜がお尻で押し潰しても日本製だから大丈夫と耐久性をアピールするお色気も面白かった。「週刊文春」(文藝春秋)によれば、出演者のギャラは渡辺 謙が2億円、菊川 怜は7500万円だったということです。5000本売れたらヒットといわれる眼鏡業界でハズキルーペの累計販売本数は500万本を超えたそうで、CMの効果絶大といったところでしょうか。

さて、渡辺 謙をも悩ませる老眼ですが、加齢により水晶体そのものの柔軟性がなくなったり、筋力の衰えによりピントが手元に合わせづらくなる現象です。近視の人は老眼鏡が必要ないなどと言われますが、近視の度合いが2.0や3.0程度であれば、眼鏡を外すと手元が見えやすい場合が多いため「老眼鏡が必要ない」と言われるようです。では、老眼鏡とメガネ型拡大鏡(ハズキルーペ)との違いは何でしょうか?

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
 松竹梅は縁起のいいものとされます。なぜこの3つは縁起がいいのでしょうか?
 松竹梅というのには「歳寒三友」という考え方によるものです。
 松竹梅は冬でも枯れないこの特徴がめでたいとされる理由。「かぐや姫」にも登場する竹ですが、日本に古くから伝わる「空洞なものには神が宿る」という言い伝えが関係しているのだとか。
 梅はどんな花よりも先に開花し、春の訪れを教えてくれます。春を待ちたい存在です。松竹梅という並びが優劣はないそうです。縁起が良いと考えられはじめた順、あるいは語感の良さで並んでいるだけだそう。す。これからの松竹梅にあやかり、おめでたいことがいっぱいありますように!
 本年もよろしくお願い致します。

ぼたん通信
 2019年 1月号
 発行 一般財団法人 脳神経疾患研究所
 須賀川診療所 ぼたん通信担当



一般的に近視用メガネなど「常用」が前提のメガネの場合には、目の間の距離(瞳孔間距離:PD)とメガネの左右のレンズの中心間の距離(光学中心間距離:OCD)は同じ60mm程度が推奨されます。老眼鏡は手元の見たい距離でピントを合わせるため(目の調節機能を補助)に使用しますが、OCDは60mm程度のものが多くあります。これに対してハズキルーペは、既製の老眼鏡よりもOCDが10mm以上も狭い48mm、そのため同じ度数の老眼鏡と比べて一割程度、物を拡大して見ることができるので、ハズキルーペのようなメガネ型拡大鏡を購入するとき、大きく見える方がよいと思って、とにかく倍率の高いものを選んでいませんか?例えば、「最近パソコンの画面が見えづらいうから、メガネ型拡大鏡にしたら大きく見えて両手も使えるはずだ」と思っていたのに、使ってみたら予想とは裏腹に想像より画面に顔を近づけないとピントが合わず、よく見えないといった事例を多く見聞します。選択のポイントとしては、①「離れたノートパソコンの画面を見たい」など見たい距離が決まっているときには「老眼鏡」、②「手元でネイルや手芸、精密作業をしたい」など一時的に拡大して見たいときには「拡大鏡」、③手元を拡大して作業したい時には「強い度数の老眼鏡」または「メガネ型拡大鏡」、④しっかりピントを合わせてさらに大きく見たい時には「強い度数の老眼鏡」または「弱めの度数の老眼鏡+メガネ型拡大鏡」と用途に応じて使い分けが大切です。

最後に、総合南東北病院附属須賀川診療所は、脳神経外科・神経内科外来の「診療部門」と、通所リハビリテーション・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の「介護サービス部門」から構成されています。開所時より「脳神経専門の診療所」として地域の皆様のご要望に添えるべく努力して参りました。本年も職員一同、皆様に満足頂けるよう心がける所存でございますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

南東北通所リハビリテーションセンター須賀川

12月の行事は、須賀川市立第一保育所の子供達による歌や劇の発表でした。皆さん子供達の発表の上手さに感動し、可愛さに笑顔が溢れるクリスマス会となりました。子供達から手作りコースターをいただきました。

子供達へのプレゼントは、利用者の皆さんからのメッセージカードを添え、手作りネームキーホルダーがサンタさんから届きました。利用者さんやスタッフも楽しいひと時を過ごす事ができて良かったです。



南東北パワーリハビリテーションセンター須賀川

平成最後のクリスマス！という事で、当施設でもクリスマス会を行いました。皆様それぞれのおやつに生クリームをデコレーションしていただいたり、クリスマスビンゴ大会も行いました。皆さんにクリスマス気分を味わっていただき、楽しいクリスマス会となりました。



東日本大震災から8年近くなり、だんだんと記憶が薄れ、防災に対する意識が忘れかけております。又、最近、福島県沖地震が発生しておりますので、地震から身を守る防災訓練を行いました。皆さんとても真剣に頭を抱え机の下に隠れる等して参加されました。

